

## 2026年JAF地方ラリー選手権のクラス区分等について

2026年日本ラリー選手権規定第13条参加車両および第14条クラス区分に基づき、  
2026年JAF地方ラリー選手権クラス区分等について、下記の通りお知らせいたします。

### 1 北海道ラリー選手権

#### 1) クラス区分 :

RA-1 クラス	排気量 2,500 cc を超える車両
RA-2 クラス	排気量 1,500 cc を超え、2,500 cc 以下の車両 および 1,500 cc 以下の 4 樽駆動の車両
RA-3 クラス	排気量 1,500 cc 以下の 2 樽駆動の車両
RA-4 クラス	排気量 1,500 cc 以下の AT 車両 および AE 車両 (排気量区分無し)

※RPN車両は同一車両型式の最も古いJAF登録年が2006年1月1日以降の車両とする。

#### 2) 過給器付車両のエアリストリクター :

RA-1 クラス	装着を義務付ける。
RA-2 クラス	装着は任意とする。
RA-3 クラス	装着は任意とする。
RA-4 クラス	装着は任意とする。

※エアリストリクターのサイズについて : 33mm (外径 39mm 未満) とする。

※年次制限は設けない。

#### 3) タイヤおよびホイール :

2026年全日本ラリー選手権統一規則に従う。

### 2 東日本ラリー選手権

#### 1) クラス区分 :

BC1 クラス	気筒容積 2,500 cc を超える 4 樽駆動車両 および気筒容積区分なしのRRN車両
BC2 クラス	気筒容積 1,500 cc を超える 2 樽駆動車両 および気筒容積 1,500 cc を超え 2,500 cc を含み 2,500 cc までの 4 樽駆動車両
BC3 クラス	気筒容積 1,500 cc を含み 1,500 cc までの車両 および 2006 年以降登録の気筒容積 1,600 cc 以下の RPN 車両
BC4 クラス	気筒容積区分なしの AE 車両と AT 車両 ※AT車両に関して車両重量が 2 トン以下の気筒容積 2,500 cc 以上の 4 樽駆動車両は除く

#### 2) 過給器付車両のエアリストリクター :

リストリクターの装着は任意とする。

#### 3) タイヤおよびホイール :

BC1 クラス	最大直径 18 インチ 最大幅 8.5 インチ
BC2 クラス	最大直径 18 インチ 最大幅 7.5 インチ
BC3 クラス	最大直径 18 インチ 最大幅 7.0 インチ
BC4 クラス	最大直径 18 インチ 最大幅 7.5 インチ

※RJ車両およびBC4クラスの車両重量が1.5トン以上の車両については、同一車両型式のカタログに記載されているホイールサイズを最大値とする。

### 3 中部・近畿ラリー選手権

#### 1) クラス区分 :

DE-1 クラス	気筒容積が 2,500 cc を超える 4 輪駆動の R J 、または R F 車両。 4 輪駆動の R R N 車両。
DE-2 クラス	気筒容積が 1,500 cc を超え 2,500 cc 以下の R J 、 R P N または R F 車両。 気筒容積が 2,500 cc を超える 2 輪駆動の R J 、 R P N または R F 車両。 2 輪駆動の R R N 車両
DE-5 クラス	気筒容積が 1,500 cc 以下の R J 、 R P N または R F 車両。
DE-6 クラス	気筒容積が 1,500 cc 以下の R P N または R F 車両 (A T に限定)。 気筒容積が 2,500 cc 以下の A E 車両。

DE-2 、 5 および 6 クラスの R P N の年次制限については、同一車両型式の最も古い J A F 登録年が 2006 年 1 月 1 日以降の車両のみ参加が認められる。

#### 2) 過給器付車両のエアリストリクター :

全クラス任意とする。但し、エアリストリクターを装着する場合、そのサイズは最大内径 33 mm (外径 : 39 mm 未満) とする。さらに、DE-1 クラスにおいてエアリストリクターを装着しない場合は、エンジンコントロールユニット (ECU) の変更、改造を認めない。

#### 3) タイヤおよびホイール :

##### 【ホイール】

DE-1 クラス : 最大直径 18 インチ 最大幅 8 インチ  
DE-2 クラス : 最大直径 18 インチ 最大幅 7.5 インチ  
DE-5 クラス : 最大直径 18 インチ 最大幅 7 インチ  
DE-6 クラス : 最大直径 18 インチ 最大幅 8 インチ

※三菱ランサー、およびスバルインプレッサ、WR X はホイールサイズが少ないことを考慮し、最大直径 18 インチ 最大幅 8.5 インチまでとする。

##### 【タイヤ】

DE-1 クラスにおいて、下記の最大幅を超えていないこと。

— DE-1 クラス : 最大幅リム /235mm 以下、直径 650mm 以下 (タイヤに刻印されたサイズ)

※三菱ランサー、およびスバルインプレッサ、WR X はホイールサイズが少ないことを考慮し、最大幅 245 ミリ (タイヤに刻印されたサイズ) までとする。

#### 4 中四国ラリー選手権

##### 1) クラス区分 :

F G-1 クラス	気筒容積が 2,500 cc を超える 4 輪駆動車両
F G-2 クラス	気筒容積が 1,500 cc を超える 2 輪駆動車両 および気筒容積が 1,500 cc を超え 2,500 cc 以下の 4 輪駆動車両
F G-3 クラス	気筒容積が 1,500 cc 以下の車両
F G-4 クラス	気筒容積が 1,500 cc 以下の R P N 車両 および気筒容積区分なしの A E 車両
R P N 車両の年次制限は行わない。	

##### 2) 過給器付車両のエアリストリクター :

エアリストリクターの装着は任意とする。

##### 3) タイヤおよびホイール :

総排気量が 1,400 cc 以下の車両	最大直径 14 インチ、最大幅 6 インチ
総排気量 1,400 cc を超え 2,000 cc 以下の車両	最大直径 16 インチ、最大幅 7 インチ
総排気量が 2,000 cc を超える車両	最大直径 17 インチ、最大幅 7.5 インチ

#### 5 九州ラリー選手権

##### 1) クラス区分 :

R H-1 クラス	気筒容積 2,500 cc を超える R J 車両、R F 車両、R P N 車両 および気筒容積区分なしの R R N 車両
R H-2 クラス	気筒容積 1,500 cc を超え 2,500 cc 以下の R J 車両、R F 車両、R P N 車両
R H-3 クラス	気筒容積 1,500 cc 以下の R J 車両、R F 車両
R H-4 クラス	気筒容積 1,500 cc 以下の 2 輪駆動の R P N 車両
R H-5 クラス	気筒容積 1,500 cc を超える A T 限定の R J 車両、R F 車両、R P N 車両、 気筒容積 1,500 cc 以下の A T 限定の後輪駆動・4WD の R J 車両、R F 車両、 R P N 車両、および R H-6 クラスに含まれない A E 車両 (A T に限らない)。
R H-6 クラス	気筒容積 1,586 cc 以下の A T 限定の前輪駆動の R J 車両、R F 車両、R P N 車両、 および気筒容積 1,800 cc 以下の A T 限定の A E 車両 (HEV・PHEV)
R P N 車両の年次制限は行わない。	

##### 2) 過給器付車両のエアリストリクター :

R H-1 クラスの過給器付車両はエアリストリクターの装着を義務付ける。

エアリストリクターを装着する場合は最大内径 33 mm とする。

##### 3) タイヤおよびホイール :

装着するホイールは、2026 年日本ラリー選手権規定第 3 章第 14 条 2 クラス区分に従って定められる下記の最大直径および最大幅とする。		
R H-1 クラス	最大直径 18 インチ	最大幅 8.5 インチ
R H-2 クラス	最大直径 17 インチ	最大幅 7.5 インチ
R H-3・4・6 クラス	最大直径 16 インチ	最大幅 7 インチ
R H-5 クラス	最大直径 18 インチ	最大幅 8 インチ

以上